

令和3年度 指定管理者施設管理評価シート			部課名	教育委員会学務課	
施設名称	33	東京都台東区立たいとうこども園	指定管理者	社会福祉法人東京児童協会	
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 継続特例 <input type="checkbox"/> 非公募		指定期間	H31.4.1	～ R6.3.31

1. 施設及び事業の概要	
(1)	[設置目的] 就学前の子供を保護者の就労の有無にかかわらず受け入れ、一貫した教育・保育を提供するとともに、地域における子育て支援を行う。
(2)	[所在地] 台東区下谷3-1-12 [規模] 延床面積1,536.26㎡ SRC・RC一部S造 5階建のうち1階 乳児室、保育室、遊戯室、職員室、事務室、調理室、調乳室、保育士室
(3)	[委託事業] 認定こども園の管理運営 [自主事業] スポット延長保育
(4)	[利用者] 生後57日～就学前の児童 [利用料金制] <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
(5)	[開館日・時間] 月～土曜日（祝祭日・年末年始を除く）、午前7時15分～午後6時15分（延長保育は午後7時15分まで）
(6)	[人員体制] 60名 (内 訳) 園長(1) 副園長(1) 保育者(常勤25※うち産休1育休3、非常勤15) 看護師(常勤2) 調理師・栄養士(常勤5※うち産休2、非常勤6※うち産休1) 事務(常勤3、非常勤1) 嘱託医(1) (前年増減) 11名増(副園長(-1) 保育者(常勤-1、非常勤+7) 栄養士(常勤+1、非常勤+3) 事務(常勤+1、非常勤+1))

2. 予算決算		R元予算	R元決算	R2予算	R2決算
収入	委託料(指定管理料)	250,145,000	250,139,100	253,900,000	253,873,048
	利用料金収入	1,815,000	1,814,050	1,942,000	1,725,210
	その他収入(給食費)	2,900,000	2,596,500	0	0
	計	254,860,000	254,549,650	255,842,000	255,598,258
支出	人件費	190,770,500	190,772,055	186,890,000	186,724,737
	光熱水費	0	0	0	0
	維持管理費(委託料・賃借料)	420,245	502,385	423,928	433,078
	修繕費	115,000	111,201	100,000	86,977
	事業費	19,970,000	19,941,534	20,391,000	20,291,150
	その他支出(事務費)	23,463,255	23,113,975	26,093,072	25,786,742
	計	234,739,000	234,441,150	233,898,000	233,322,684
収支			20,108,500		22,275,574

3. 活動指標	単位	(目標値)R4年度	H30年度	R元年度	R2年度
定員	人	161	161	161	161
年間保育日数	日	293	292	294	293

4. 成果指標	単位	(目標値)R4年度	H30年度	R元年度	R2年度
入所児童数(4月1日現在)	人	161	156	157	149

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取組み状況

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、園内への立ち入りが制限され、保護者への伝達手段の主体を掲示から園導入のICTシステムへ移行し、園の連絡事項や1日の活動・園児の様子等について、日々情報発信している。コロナ禍において、システムを有効的に最大限活用し、園運営の継続と保護者支援に取り組んでいる。

6. 評価の観点 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	事業計画書等の提出や区との必要な手続きについては、遅延なく適切に行われた。また、区への報告や連絡調整にも迅速に対応し、常に情報の共有がなされている。引き続き、働きやすい職場環境作りに取り組んでおり、適正な管理体制及び運営が行われている。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
20 / 20 点	職員会議で必要な子供や保護者の情報を共有し、対応方法の統一化を図った。法人内研修や外部講師による園内研修については、感染症予防のためリモートを活用して実施した。法人全体で人材の育成に最も力を入れており、良好で質の高い事業運営が行われている。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	園内のリスクマネジメント委員会を中心に、施設の感染対策強化と緊急時に迅速な対応を図るための体制整備に取り組んだ。利用者の施設内立ち入り制限や感染リスクの高い箇所を重点的に消毒するなど衛生管理は徹底されており、適切な維持管理が行われている。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
18 / 20 点	利用者アンケートでは、保護者周知に一部課題があるものの、教育・保育内容をはじめ、職員の人柄や対応、食事、保育サービス、施設環境面で非常に高い支持を得ている。コロナ禍では、園便りの充実や様々な手法でのオンライン配信等、園の情報発信に努めた。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	法人内の経理委員会を基盤とし、会計の運用方法等について継続的な見直しが行われている。管理経費の効率的な執行ならびに公認会計士による定期的な確認により、収支管理は適切に行われている。

(6) 優れた取組み ◀加点項目▶ ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取組みによる成果
5 点	法人全体の取組みとして、緊急事態宣言に伴う登園自粛・臨時休園に対応し、在宅勤務の保育士が在園家庭や地域の外出自粛をしている家庭に向けて、手作りの玩具を無償提供した。遊び方に関するライブ配信も実施しており、地域の子育て支援に大いに寄与した。

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
極めて良好 (103 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>コロナ禍において、利用者に対する感染対策の徹底と園の対策強化を図り、安全安心な保育環境と工夫を凝らした教育保育活動が提供されている。より充実した情報発信とともに、利用者の評価も高いことから、適正な管理運営が行われている。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p> <p>アンケートにおいて、外部の苦情窓口に対する保護者の認識が低く、回収率も前年を下回る結果であった。周知方法の更なる工夫とともに、利用者の意見等を聴取できる機会を積極的に活用し、より一層のサービス向上に努めていく必要がある。</p>